

研究概要

「情報リテラシー教育」のモデルを作成する

現在の実施内容

図書館利用案内
OPACの使い方 など



新入生に
習得を期待する
情報リテラシー能力



- 情報リテラシーとは何かを知り、その必要性を理解する
- 情報の生成と流通について理解し、媒体の理論と特徴を理解する
- 図書の探し方と入手方法を理解する
- インターネット上の情報源を利用する

現状の課題と解決案 I

- 能力の差 学生間における能力にバラツキがある



全ての新生を対象にできる
1年次教育の一環として実施

- 内容の偏り 講義内容に偏りがある

検索技術を指導する傾向が強い



現在説明が不足している項目を
含んだ内容にする

現状の課題と解決案Ⅱ

- 関心の低さ 学生の興味・関心が低い(居眠りなど)
参加率の低さ



魅力ある授業の実施
参加の強制(必須科目に組み込むなど)

- 人材の不足 教育を指導できる人材の不足



マニュアルの作成

モデル概観

- 対象者 新入生
- 実施者 図書館職員数名（説明者、補助者）
- 時間構成 90分（60分講義 / 30分実習）
- 使用ソフト Microsoft Power Point
- 説明内容

レポート作成にあたって（情報収集の必要性、情報の使用方法）

検索ツールの特徴の説明（「本」と「インターネット」の特徴）

本の探し方（OPACの使い方から、実際に本棚から本を探すまで）

資料の見方

1年次図書館オリエンテーション

- パソコンにログインし、インターネット画面を1つ開いてください
- 配布資料2点を確認してください
 - 1 閲覧室(つるみ開架)案内図
 - 2 「1年次図書館オリエンテーション」課題
- 課題に、日付、学籍番号、氏名を記入してください
- 講習中にわからないことがあれば、手を挙げて知らせてください

スライド

説明内容

内容

配布資料（課題など）を確認させる

←時間節約のため、資料配布などを行っている時に、パソコンのログインや配布資料の確認をさせておく

これから1年次図書館オリエンテーションを始めます。
担当の図書館の〇〇です。よろしくお願いします。
最初に配布した資料〇点をご確認ください。
足りない場合は手を挙げてください。

説明メモ

わかったこと

■ 共通のマニュアルを作成するのは困難

時間的要因	…	長い OR 短い
教える内容	…	多すぎる OR 少なすぎる
施設的要因	…	コンピューターの台数制限 他

■ 1回の授業で全てを教えるのは困難

教える内容が多く、学生にとって何が重要なことか見えにくい

■ 教員の理解・協力の必要性

他の授業において教員に図書館の利用を促してもらう
今回学んだ「情報リテラシー能力」を活用する場が必要

今後の課題


■ 「情報リテラシー」を学ぶ機会の提供と充実

継続性

2、3、4年と、段階的に「情報リテラシー教育」を実施

多様性

従来の図書館ガイダンスも合わせて実施

更なるモデルの改善
他学年向けのモデル作成は
次年度の例会に期待します 

ご清聴ありがとうございました

- 今回発表しましたモデルは、ホームページで公開の予定
です

HPアドレス <http://www.jaspul.org/e-kenkyu/joholite/index.html>

- 何かご意見、ご質問などがありましたら、情報リテラシー
研究分科会までご連絡ください

連絡先 joholite@jaspul.org